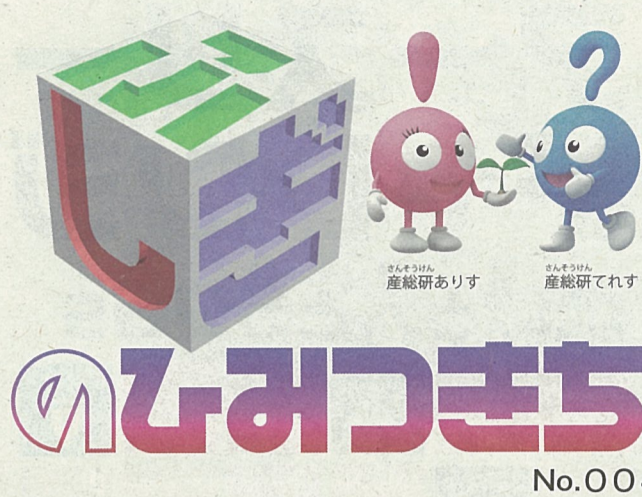


今回のテーマ

黄金比をさがせ!



あるものを見て美しいと感じるとき、縦と横の線の長さに特別な割合が隠されていることが少なくありません。

黄金比って聞いたことはありますか。比とは比率のことです。人が見て、美しいと感じたり、なんとなく安定しているなど感じたりする、長い線と短い線の長さの割合をいいます。それを確かめてみましょう。

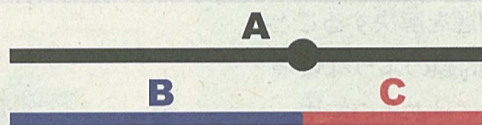
紙に長さ16.18センチの横線を1本引いて、左から10センチのところ印をつけます。図をみてください。もとの線Aの長さは左側の短い線Bの長さの何倍になるでしょうか。答えは1.618倍。つまり1.618対1の比率になります。実はこのとき、線Bの長さは、右側のもっと短い線Cの長さから見ても同じ倍率になります。これが黄金比です。

◇カブトムシも?

黄金比は自然界に見られます。たとえば、昆虫の体の模様やつくりの多くに、黄金比がかくれています。

カブトムシとクワガタムシの

Aの線を●で分ける。AがBの1.618倍の長さのとき、Bの長さもCの1.618倍になる。この分け方が黄金比!



昆虫にも黄金比がかくれている?! カブトムシとクワガタを観察♥



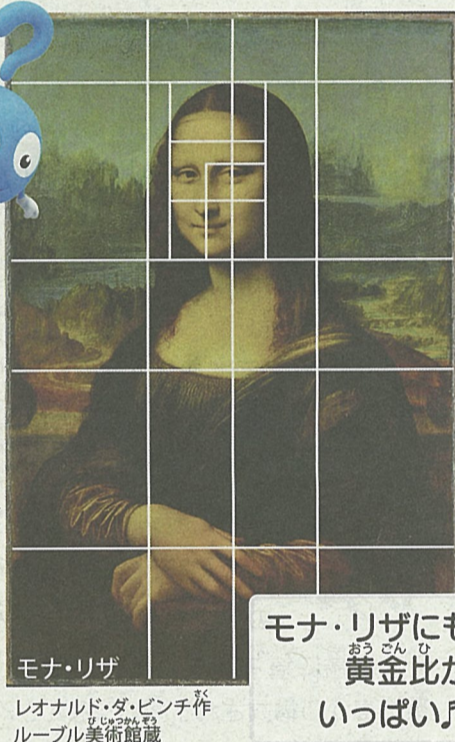
標本に縦・横の長さが黄金比である長方形を重ねてみました。写真のように、体のつくりにも黄金比がかくれていました。自然界からは、その他にも多くの例が見つかっています。

人間は美しいと感じる黄金比を、図形や模様、建物、彫刻、絵画などに取り入れてきました。スポーツカーやSF映画

に登場する宇宙船のデザインなど現代のものだけでなく、古代ギリシャのパルテノン神殿やレオナルド・ダ・ビンチが描いた絵にも黄金比が使われています。

◇身の回りにもいっぱい

でも、なぜ人が黄金比を美しいと感じるのか、いつだれが



黄金比を見つけたのかは、よくわかっていないのです。もし、自分の身の回りで美しいと感じるものがあつたら、実際にその長さを測ってみましょう。黄金比がひそんでいるかもしれませんよ。

(参考:ゲイリー・B・マイスナー「黄金比 秘められた数の不思議」創元社)

今日の先生



古賀聖治さん

「南極にも行った環境学者です。フシギにも美しさにも必ずわけがある。ジョギング+ケンスイが日課!」

産業技術総合研究所(産総研)広報部。専門は大気中に浮かんでいる微粒子についての研究。出身小学校は大阪府高石市立東羽衣小。

さんそうけんって?

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国11か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブサイトはこちら → (さんそうけんサイエンスタウン)

